
中央大学大学院

文学研究科 博士前期課程

出題意図・解答又は解答例

2025 年度入試

一般入試

外国人留学生入試

社会人特別入試

行動する知性。



文学研究科 博士前期課程

「問題」の目次において○印のある科目について掲載しています。

研究科	専攻	課程	科目名	入試方式	ページ
文学	各専攻共通	博士前期	英語	一般入学試験（秋季）	1
文学	各専攻共通	博士前期	英語	一般入学試験（春季）	2
文学	各専攻共通	博士前期	ドイツ語	一般入学試験（秋季）	3
文学	各専攻共通	博士前期	ドイツ語	一般入学試験（春季）	4
文学	各専攻共通	博士前期	フランス語	一般入学試験（秋季）	5
文学	各専攻共通	博士前期	フランス語	一般入学試験（春季）	6
文学	各専攻共通	博士前期	中国語	一般入学試験（春季）	7
文学	国文学	博士前期	国語学・国文学	一般入学試験（秋季）	8
文学	国文学	博士前期	国語学・国文学	社会人特別入学試験	
文学	国文学	博士前期	国語学・国文学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	国文学	博士前期	国語学・国文学	一般入学試験（春季）	
文学	国文学	博士前期	国語学・国文学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	英文学	博士前期	英語学・英米文学	一般入学試験（秋季）	10
文学	英文学	博士前期	英語学・英米文学	社会人特別入学試験	
文学	英文学	博士前期	英語学・英米文学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	独文学	博士前期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	一般入学試験（春季）	11
文学	独文学	博士前期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	仏文学	博士前期	フランス文学・フランス美術史	一般入学試験（秋季）	12
文学	仏文学	博士前期	フランス文学・フランス美術史	社会人特別入学試験	
文学	仏文学	博士前期	フランス文学・フランス美術史	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	仏文学	博士前期	フランス文学・フランス美術史	一般入学試験（春季）	
文学	仏文学	博士前期	フランス文学・フランス美術史	外国人留学生入学試験（春季）	13
文学	中国言語文化	博士前期	中国語学・中国文学・中国文化学	一般入学試験（秋季）	14
文学	中国言語文化	博士前期	中国語学・中国文学・中国文化学	社会人特別入学試験	
文学	中国言語文化	博士前期	中国語学・中国文学・中国文化学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	中国言語文化	博士前期	中国語学・中国文学・中国文化学	一般入学試験（春季）	
文学	中国言語文化	博士前期	中国語学・中国文学・中国文化学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	日本史学	博士前期	日本史	一般入学試験（秋季）	16
文学	日本史学	博士前期	日本史	社会人特別入学試験	
文学	日本史学	博士前期	日本史	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	日本史学	博士前期	日本史	一般入学試験（春季）	
文学	日本史学	博士前期	日本史	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	東洋史学	博士前期	東洋史	一般入学試験（秋季）	18
文学	東洋史学	博士前期	東洋史	社会人特別入学試験	
文学	東洋史学	博士前期	東洋史	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	東洋史学	博士前期	東洋史	一般入学試験（春季）	
文学	東洋史学	博士前期	東洋史	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	西洋史学	博士前期	西洋史	一般入学試験（秋季）	20
文学	西洋史学	博士前期	西洋史	社会人特別入学試験	
文学	西洋史学	博士前期	西洋史	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	西洋史学	博士前期	西洋史	一般入学試験（春季）	
文学	西洋史学	博士前期	西洋史	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	哲学	博士前期	哲学史	一般入学試験（秋季）	22
文学	哲学	博士前期	哲学史	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	哲学	博士前期	哲学史	一般入学試験（春季）	
文学	哲学	博士前期	哲学史	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	社会学	博士前期	社会学	一般入学試験（秋季）	24
文学	社会学	博士前期	社会学	社会人特別入学試験	
文学	社会学	博士前期	社会学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	社会学	博士前期	社会学	一般入学試験（春季）	
文学	社会学	博士前期	社会学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	社会情報学	博士前期	社会情報学	一般入学試験（秋季）	26
文学	社会情報学	博士前期	社会情報学	社会人特別入学試験	
文学	社会情報学	博士前期	社会情報学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	社会情報学	博士前期	社会情報学	一般入学試験（春季）	
文学	社会情報学	博士前期	社会情報学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	教育学	博士前期	教育学	一般入学試験（秋季）	28
文学	教育学	博士前期	教育学	社会人特別入学試験	
文学	教育学	博士前期	教育学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	教育学	博士前期	教育学	一般入学試験（春季）	
文学	教育学	博士前期	教育学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	心理学（心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	心理学	一般入学試験（秋季）	30
文学	心理学（心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	心理学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	心理学（心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	心理学	一般入学試験（春季）	
文学	心理学（心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	心理学	外国人留学生入学試験（春季）	
文学	心理学（臨床心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	臨床心理学	一般入学試験（秋季）	34
文学	心理学（臨床心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	臨床心理学	社会人特別入学試験	
文学	心理学（臨床心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	臨床心理学	外国人留学生入学試験（秋季）	
文学	心理学（臨床心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	臨床心理学	一般入学試験（春季）	
文学	心理学（臨床心理学Ⅰ-Ⅱ）	博士前期	臨床心理学	外国人留学生入学試験（春季）	36

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	英語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>本研究科は、選抜にあたって専門分野の文献を正確に読み取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力を有していることを評価基準のひとつとしている。各専攻共通外国語（英語）においては、この基準に基づき出題を行なっている。具体的には、辞書を使いこなしつつ文脈に即して語義を正確に理解し、文法に適った和訳を行う能力を測る。</p> <p>なお解答例については、著作権許諾処理の問題、および解答の誘導の恐れにより公表できない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	英語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>本研究科は、選抜にあたって専門分野の文献を正確に読み取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力を有していることを評価基準のひとつとしている。各専攻共通外国語（英語）においては、この基準に基づき出題を行なっている。具体的には、辞書を使いこなしつつ文脈に即して語義を正確に理解し、文法に適った和訳を行う能力を測る。</p> <p>なお解答例については、著作権許諾処理の問題、および解答の誘導の恐れにより公表できない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>解答・解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。但し、出題の意図は以下の通りである。</p> <p>1 問目は、主に文法力（質的語彙力、統語構造を見抜く力、先行詞と代名詞の照応関係などテキストの結束構造・結束性を理解する力）を有しているかという観点から、基礎的なドイツ語力を確認するための問題である。</p> <p>2 問目・3 問目については、受験生が1 問選択して解答する。専門分野に関わってくるような内容・形式のテキストで、必要に応じて、テキスト外情報（背景知識や基礎的な専門知識）を援用して読む。学術ドイツ語の力を見る問題でもある。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>解答・解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。但し、出題の意図は以下の通りである。</p> <p>1 問目は、主に文法力（質的語彙力、統語構造を見抜く力、先行詞と代名詞の照応関係などテキストの結束構造・結束性を理解する力）を有しているかという観点から、基礎的なドイツ語力を確認するための問題である。</p> <p>2 問目・3 問目については、受験生が1 問選択して解答する。専門分野に関わってくるような内容・形式のテキストで、必要に応じて、テキスト外情報（背景知識や基礎的な専門知識）を援用して読む。学術ドイツ語の力を見る問題でもある。</p>

「出題の意図」 ・ 「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	フランス語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>学術的文体のフランス語で書かれた文章を読み、指定された箇所を適切な日本語に訳出する問題である。フランス語の基礎的な文法事項を正しく理解しているか、文章全体の論旨を踏まえた上で指定された箇所の意味を正確に理解し日本語に訳せているかを確認することを目的としている。</p> <p>解答または解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。ただし、採点時の観点は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定箇所の原文の内容が正しく理解できているか ・ 文章理解において特に問題となる文法事項（時制、法、代名詞など）を正しく理解した上で訳出できているか ・ 文章全体の論旨を踏まえた適切な訳語を選択できているか ・ 日本語として十分に意味の通る訳文になっているか

「出題の意図」 ・ 「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	フランス語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	<p>学術的文体のフランス語で書かれた文章を読み、指定された箇所を適切な日本語に訳出する問題である。フランス語の基礎的な文法事項を正しく理解しているか、文章全体の論旨を踏まえた上で指定された箇所の意味を正確に理解し日本語に訳せているかを確認することを目的としている。</p> <p>解答または解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。ただし、採点時の観点は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定箇所の原文の内容が正しく理解できているか ・ 文章理解において特に問題となる文法事項（時制、法、代名詞など）を正しく理解した上で訳出できているか ・ 文章全体の論旨を踏まえた適切な訳語を選択できているか ・ 日本語として十分に意味の通る訳文になっているか

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	中国語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	各専攻共通中国語の試験問題は、入学者選抜にあたって、「入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）」に則り、前期課程の教育研究を行う素養（すなわち「語学力」「論理能力」「計画性」）の中で、特に語学力（専門分野の文献を正確に取り取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力）の習熟度を測ることを目的として出題しているが、著作物の著作権許諾処理の問題により解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	国文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	国語学・国文学
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、すべて国文学・国語学の分野についての知識を問うものとなっているが、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p> <p>設問 A 掲出の古文を語彙、文法を正しく理解した上でわかりやすい現代語に直せているか。</p> <p>設問 B 古典文学の研究に必要なくずし字を正しく解読できるか。または、近代文学で用いられる用語・概念について正しく理解できているか。</p> <p>設問 C 近代文学の中から与えられたテーマに合致する作品を選び、論じることができているか。</p> <p>設問 D 国語学のテクニカルターム、国語学史、日本語の言語学的知識等について正しく理解できているか。</p> <p>設問 E 国文学史上の作品・人物・流派等について正しい知識を持っているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	国文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	国語学・国文学
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、すべて国文学・国語学の分野についての知識を問うものとなっているが、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p> <p>設問 A 掲出の古文を語彙、文法を正しく理解した上でわかりやすい現代語に直せているか。</p> <p>設問 B 古典文学の研究に必要なくずし字を正しく解読できるか。または、近代文学で用いられる用語・概念について正しく理解できているか。</p> <p>設問 C 近代文学の中から与えられたテーマに合致する作品を選び、論じることができているか。</p> <p>設問 D 国語学のテクニカルターム、国語学史、日本語の言語学的知識等について正しく理解できているか。</p> <p>設問 E 国文学史上の作品・人物・流派等について正しい知識を持っているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季 ）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	英文専攻
入試方式	■一般入試 ■社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	英語学・英米文学
出題の意図 解答または解答例	<p>当該専門分野における主要なテーマについて、そのテーマに関する具体的な課題や論述を題材として、問いを的確に把握するとともに、自身の見解を論述することを求めることで、当該分野に関する基礎知識の有無と課題に対する論理的な検討の可否を測ることを目的としている。</p> <p>本試験問題は、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p> <p>設問Ⅰ 英文学・米文学・英語学・英語教育の4分野24問から選択した5つの鍵語や専門用語について、以下の要件を満たした解答となっているか。</p> <p>①その学術的な意味内容や文学史的意義などを正しく理解しているか。</p> <p>②それが論理的に構成され、明晰に文章化されているか。</p> <p>③過不足ない内容で、指定された分量に収まっているか。</p> <p>設問Ⅱ 英文学・米文学・英語学・英語教育の4分野8問から選択した1つのテーマについて、以下の要件を満たした解答となっているか。</p> <p>①その学術的な意味内容や文学史的意義を正しく理解しているか。</p> <p>②その研究上の課題が明確に述べられているか。その際、先行研究などへの言及が適切になされているか。</p> <p>③それが論理的に構成され、過不足ない内容で、明晰に文章化されているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	独文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学
出題の意図 解答または解答例	<p>I.について</p> <p>一定の模範解答を示す形式の出題ではない。 問題文の題意を正しく読み取り、自らが持つ知識から適切なものを選び出し、それらを論理的・有機的に結びつけることで、意味の通った明解な解答を限られた時間と分量で作成するという能力を測定する。解答に使用する日本語・ドイツ語とも学術的な運用力が要求される。いずれも入学後の研究に必要となる能力である。内容については、学際的な立場から評価・採点する。</p> <p>II.について</p> <p>一定の模範解答を示す形式の出題ではない。 問題文のドイツ語を正しく読み取った上で、自分自身の研究計画を論理的・客観的・簡潔にドイツ語で述べる力を評価の対象とする。学術ドイツ語の習得状況を把握するとともに、研究計画の内容を知り、入学後の指導に生かすという意図もある。専攻の学びにあたり、必要不可欠な能力である。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季 ）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	■一般入試 ■社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	フランス文学・フランス美術史
出題の意図 解答または解答例	<p>フランス文学史・西洋美術史について、作家・芸術家の名前や作品名をフランス語で記憶し、それらの内容を正確に理解しているか、適切な日本語で説明できるかを確認する記述式問題である。</p> <p>【フランス文学】 フランス文学史上特に重要な事項、および特に重要な作家に関する知識を問う。</p> <p>【フランス美術史】 美術史用語、西洋美術史の知識、芸術家に関する知識を問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。 採点時の観点は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問の趣旨を的確に把握し、問われたことに過不足なく答えているか。 ・文学史・美術史の流れや各時代の特徴を理解したうえで、事実に即した内容になっているか。 ・作家・芸術家の活躍した年代、代表作や作風などについて、具体例や歴史的背景などを解答に盛り込んでいるか。 <p>なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、採点にあたっては、内容の正確さのみならず、文章の一貫性や論理性、表現力を含め、総合的に評価する。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	仏文学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	フランス文学・フランス美術史
出題の意図 解答または解答例	<p>フランス文学史・西洋美術史について、作家・芸術家の名前や作品名をフランス語で記憶し、それらの内容を正確に理解しているか、適切な日本語で説明できるかを確認する記述式問題である。</p> <p>【フランス文学】 フランス文学史上特に重要な事項、および特に重要な作家に関する知識を問う。</p> <p>【フランス美術史】 美術史用語、西洋美術史の知識、芸術家に関する知識を問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。 採点時の観点は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問の趣旨を的確に把握し、問われたことに過不足なく答えているか。 ・文学史・美術史の流れや各時代の特徴を理解したうえで、事実に即した内容になっているか。 ・作家・芸術家の活躍した年代、代表作や作風などについて、具体例や歴史的背景などを解答に盛り込んでいるか。 <p>なお、設問の性質上、唯一の正解が存在するわけではないため、採点にあたっては、内容の正確さのみならず、文章の一貫性や論理性、表現力を含め、総合的に評価する。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季 ）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	中国言語文化専攻
入試方式	■一般入試 ■社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	中国語学・中国文学・中国文化学
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、中国語学・中国文学・中国文化学の分野についての専門知識および日本語による論理的な表現力を問うものである。また、専門分野の中国語資料を正確に読み取り、自分の見解を日本語で文章化する言語能力および論理能力を測ることを目的としている。</p> <p>出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切でないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に記す。</p> <p>設問Ⅰ 専門知識を問う問題 中国語学・中国文学・中国文化学の3分野12項目の中から選択した5項目について、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①学術的な意味内容を正確に理解しているか。 ②中国語学・中国文学・中国文化学の各分野の視点から、適切な説明を展開できているか。 ③簡潔な日本語で、過不足なく明晰に文章化されているか。</p> <p>設問Ⅱ 資料読解力を問う問題 中国語学・中国文学・中国文化学の3分野2問の中から選択した中国語の長文ひとつについて、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①学術的な中国語の文章の内容を正確に読み取ることができるか。 ②文章の内容に関連させながら自由な発想で思考を深め、専門的な論述に発展できるか。 ③自らの見解を日本語で文章化する論理的思考および論理的表現力を有しているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	中国言語文化専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	中国語学・中国文学・中国文化学
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、中国語学・中国文学・中国文化学の分野についての専門知識および日本語による論理的な表現力を問うものである。また、専門分野の中国語資料を正確に読み取り、自分の見解を日本語で文章化する言語能力および論理能力を測ることを目的としている。</p> <p>出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切でないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に記す。</p> <p>設問Ⅰ 専門知識を問う問題 中国語学・中国文学・中国文化学の3分野12項目の中から選択した5項目について、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①学術的な意味内容を正確に理解しているか。 ②中国語学・中国文学・中国文化学の各分野の視点から、適切な説明を展開できているか。 ③簡潔な日本語で、過不足なく明晰に文章化されているか。</p> <p>設問Ⅱ 資料読解力を問う問題 中国語学・中国文学・中国文化学の3分野2問の中から選択した中国語の長文ひとつについて、以下の要件を満たした解答となっているか。 ①学術的な中国語の文章の内容を正確に読み取ることができるか。 ②文章の内容に関連させながら自由な発想で思考を深め、専門的な論述に発展できるか。 ③自らの見解を日本語で文章化する論理的思考および論理的表現力を有しているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	日本史
出題の意図 解答または解答例	日本史学の専門分野における、主要な歴史概念や語句の説明と、歴史上重要な出来事や歴史の流れについての論述、および日本史学・考古学に関する史資料の読解を通して、歴史学に関する専門的知識と、論理的な文章を書く力を測ることを意図している。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	日本史
出題の意図 解答または解答例	日本史学の専門分野における、主要な歴史概念や語句の説明と、歴史上重要な出来事や歴史の流れについての論述、および日本史学・考古学に関する史資料の読解を通して、歴史学に関する専門的知識と、論理的な文章を書く力を測ることを意図している。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	東洋史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	東洋史
出題の意図 解答または解答例	<p>東洋史学に関する知識だけでなく、論理的に物事を説明することができるかを問う。問1は、具体的な事象や概念をとおして、東洋史学に関する幅広い知識を問うものである。問2では、自身が専門とするテーマに関連する研究史を、特定の国や地域に偏ることなくひろく把握できているか、またその内容を研究史、あるいは史学史の中に適切に位置づけることができるかを確認する。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。記述解答の文章表現・構成・内容から、以下の2点を、総合的に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 博士前期課程での学修および研究に必要な専門的知識を備えているか。 2. 博士前期課程での学修および研究に必要な日本語力を備えているか。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	東洋史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	東洋史
出題の意図 解答または解答例	<p>東洋史を研究する上で必要となる専門知識の正確な理解、それらを順序立てて論理的に説明できる能力を測ることを意図している。問1は、具体的な事象や概念をとおして、東洋史学に関する幅広い知識を問うものである。問2は、個別具体的な事象・概念に関する基礎的な知識を問うものである。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。記述解答の文章表現・構成・内容から、以下の2点を、総合的に判断する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 博士前期課程での学修および研究に必要な専門的知識を備えているか。 2. 博士前期課程での学修および研究に必要な日本語力を備えているか。

「出題意図」 ・ 「解答または解答例」

年度	2025年度入試 (<input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季)
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	西洋史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	西洋史
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、以下の二つの目的を意図して出題している。</p> <p>第一に、受験生が西洋史（古代オリエント史を含む）の研究における重要テーマについて十分に理解しており、それを適切な日本語で説明できているかどうかを確認することである。</p> <p>第二に、受験生が上記のテーマを自身の研究分野に即して理解し、それを自身の研究関心や問題意識とつなげられているか、また以上の内容を適切かつ論理的な日本語で表現できているかどうかを確認することである。これは、修士論文を執筆するうえで必要とされる日本語の運用能力を有しているかを測るためでもある。</p> <p>本試験問題は、その出題形式の性質上、唯一の正解が存在するわけではない。したがって、解答や解答例を公開することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。本試験問題は、以下の3点を基準として採点を行った。</p> <p>①出題したテーマについて、その意味内容や学術的な意義を正しく理解しているか。</p> <p>②上記のテーマを自身の研究分野に即して理解し、さらにそれを自身の研究関心や問題意識へと引き付けつつ、研究上の課題が明確に述べられているか。その際、先行研究などへの言及がなされているか。</p> <p>③学術論文を執筆するのにふさわしい日本語運用能力を備えているか。また、論理的に構成された文章になっているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	西洋史学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	西洋史
出題の意図 解答または解答例	<p>本試験問題は、以下の二つの目的を意図して出題している。</p> <p>第一に、受験生が西洋史（古代オリエント史を含む）の研究における重要テーマについて十分に理解しており、それを適切な日本語で説明できているかどうかを確認することである。</p> <p>第二に、受験生が上記のテーマを自身の研究分野に即して理解し、それを自身の研究関心や問題意識とつなげられているか、また以上の内容を適切かつ論理的な日本語で表現できているかどうかを確認することである。これは、修士論文を執筆するうえで必要とされる日本語の運用能力を有しているかを測るためでもある。</p> <p>本試験問題は、その出題形式の性質上、唯一の正解が存在するわけではない。したがって、解答や解答例を公開することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。本試験問題は、以下の3点を基準として採点を行った。</p> <p>①出題したテーマについて、その意味内容や学術的な意義を正しく理解しているか。</p> <p>②上記のテーマを自身の研究分野に即して理解し、さらにそれを自身の研究関心や問題意識へと引き付けつつ、研究上の課題が明確に述べられているか。その際、先行研究などへの言及がなされているか。</p> <p>③学術論文を執筆するのにふさわしい日本語運用能力を備えているか。また、論理的に構成された文章になっているか。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	哲学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	哲学史
出題の意図 解答または解答例	<p>本問は、哲学史における基本的な語彙・概念および重要な問題について、正確に説明する能力を問う。あわせて、概説や特定の学説を単に暗記するのではなく、それらを踏まえて自らの言葉で批判的に考察し、論点を再構成する能力を有しているかを評価する。</p> <p>また、記述においては、論証の前提の明確さ、推論の妥当性、論理的導出の適切性といった点を重視する。</p> <p>外国人留学生については、これらに加えて、日本語を用いて高度に思考を表現する運用能力も重要な評価要素とする。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	哲学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	哲学史
出題の意図 解答または解答例	<p>本問は、哲学史における基本的な語彙・概念および重要な問題について、正確に説明する能力を問う。あわせて、概説や特定の学説を単に暗記するのではなく、それらを踏まえて自らの言葉で批判的に考察し、論点を再構成する能力を有しているかを評価する。</p> <p>また、記述においては、論証の前提の明確さ、推論の妥当性、論理的導出の適切性といった点を重視する。</p> <p>外国人留学生については、これらに加えて、日本語を用いて高度に思考を表現する運用能力も重要な評価要素とする。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

<p>年度</p> <p>研究科</p> <p>課程</p> <p>専攻</p>	<p>2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程</p> <p>社会学専攻</p>
<p>入試方式</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試</p>
<p>試験科目</p>	<p>社会学</p>
<p>出題の意図</p> <p>解答または解答例</p>	<p>問1</p> <p>本試験の出題の意図は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、受験生が自らの研究関心と問題意識を踏まえて修士論文を作成していくにあたって、社会学の研究に必要な用語や概念について十分な理解をしておき、文章で適切に説明できるかどうかを確認するものである。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。採点時の観点は次のようになる。1) 社会学の基本的な理論・学説について正確に理解しているか、2) 社会学の基本的な用語・概念について正確に理解しているか、3) 社会学の専門用語を用いて論理的な説明ができるか、以上の3点である。</p> <p>問2</p> <p>本試験は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、社会学の専門文献の読解を通じて、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を問うことを狙いとしている。</p> <p>設問1 専門的な文書の内容理解を問う問題である。「シカゴ学派」という呼称は、社会学史のなかで、社会の状況の変化のなかで生み出され、いかなる意味を持ったのかを理解し、的確に整理することを求めている。基礎的な理解力を問う問題である。</p> <p>設問2 「シカゴ学派」と「シカゴ社会学」という言葉の含意のちがいについて、専門的な文書に対する批判的思考力を通じて整理することを求める問題である。</p> <p>設問3 基礎的な理解力と批判的思考力を組み合わせ、発想力・構成力・表現力を問う、総合的な論理的思考力を問う問題である。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	社会学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	社会学
出題の意図 解答または解答例	<p>問1</p> <p>本試験の出題の意図は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、受験生が自らの研究関心と問題意識を踏まえて修士論文を作成していくにあたって、社会学の研究に必要な用語や概念について十分な理解をしており、文章で適切に説明できるかどうかを確認するものである。</p> <p>採点時の観点は以下の通りである。</p> <p>1) 社会学の基本的な理論・学説について正確に理解した上で「個人」や「社会」という社会学の根本的な用語について解説ができているか。</p> <p>2) 社会学の基本的な理論・学説について正確に理解し、複数の学説を適切に選択し解説し、社会学の専門用語として「社会」について、論理的な説明ができるか。</p> <p>問2</p> <p>本試験は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、社会学の専門文献の読解を通じて、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を問うことを狙いとしている。</p> <p>採点時の観点は以下の通りである。</p> <p>設問1 専門的な文書の内容理解を正確に読解できているか、基礎的な理解力を問う問題である。問題文の筆者の論理を正確に追うことができ、それを的確に整理することを求めている。</p> <p>設問2 内容を理解する理解力と、内容を応用し批判的に思考する力を試し、発想力・構成力・表現力を問う、総合的な論理的思考力を問う問題である。</p> <p>なお、いずれの問題も解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	社会情報学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<p><A.基礎理論> 本問題においては、受験者が社会情報学の基礎的な理論に関する知識を有しているか、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか ・社会情報学の基礎的な概念や先行研究を正確に理解し、今日的な現象に適切に応用し、記述しているか ・論理的思考力、および論理構成力が学術論文執筆に十分であるか</p> <p><B.メディア・コミュニケーション論> 本問題においては、受験者がメディア・コミュニケーション論に関わる基本的な理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 第一に、設問の趣旨を正確に把握し、論理的に正確な解答を行っているかどうか。 第二に、メディア・コミュニケーション論に関わる基本的な理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうか。 第三に、本学大学院に入学後に行う研究や論文の執筆に向けて、十分な論理的思考力や記述力を有しているかどうか。</p> <p><C.図書館情報学> 本問題においては、受験者が図書館情報学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を十分に有しているか、またそれらを図書館にかかる過去、現在、将来に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答しているか。 ・図書館情報学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を正確に理解し、図書館にかかる過去、現在、将来に適切に応用し、記述しているか。 ・本学大学院に入学後の研究活動や論文執筆に際し、十分な論理的思考力や記述力を有しているか。</p> <p><D.情報システム学> 本問題においては、受験者が情報システム学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を十分に有しているか、また、情報システムを取り扱う際にその知識を適切に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切な解答をおこなっているか ・情報システム学の基礎的な概念や先行研究を正確に理解し、問われた内容に対して適切かつわかりやすく説明できているか ・論理的思考力、および論理構成力が学術論文執筆に十分であるか</p> <p><E.データ解析> 本設問の出題意図は次の2点である。 ①統計学の基本的な概念・統計量について理解しているか ②その意味と目的について理解しているか 採点基準は以下のとおりである。 ①基本的な統計量の算出方法を誤りなく記述できていること ②記述統計と推測統計の違いを理解して記述できていること。</p> <p>なお、いずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	社会情報学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<p><A.基礎理論> 本問題においては、受験者が社会情報学の基礎的な理論に関する知識を有しているか、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか ・社会情報学の基礎的な概念や先行研究を正確に理解し、今日的な現象に適切に応用し、記述しているか ・論理的思考力、および論理構成力が学術論文執筆に十分であるか</p> <p><B.メディア・コミュニケーション論> 本問題においては、受験者がメディア・コミュニケーション論に関わる基本的な理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 第一に、設問の趣旨を正確に把握し、論理的に正確な解答を行っているかどうか。 第二に、メディア・コミュニケーション論に関わる基本的な理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうか。 第三に、本学大学院に入学後に行う研究や論文の執筆に向けて、十分な論理的思考力や記述力を有しているかどうか。</p> <p><C.図書館情報学> 本問題においては、受験者が図書館情報学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を十分に有しているか、またそれらを図書館にかかる過去、現在、将来に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答しているか。 ・図書館情報学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を正確に理解し、図書館にかかる過去、現在、将来に適切に応用し、記述しているか。 ・本学大学院に入学後の研究活動や論文執筆に際し、十分な論理的思考力や記述力を有しているか。</p> <p><D.情報システム学> 本問題においては、受験者が情報システム学が扱う領域の基礎的な知識、技術、技能等を十分に有しているか、また、情報システムを取り扱う際にその知識を適切に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切な解答をおこなっているか ・情報システム学の基礎的な概念や先行研究を正確に理解し、問われた内容に対して適切かつわかりやすく説明できているか ・論理的思考力、および論理構成力が学術論文執筆に十分であるか</p> <p>E.データ解析 本設問の出題意図は次の2点である。 ①統計学の基本的な概念・統計量について理解しているか ②その意味と目的について理解しているか</p> <p>【解答例】 採点基準は以下のとおりである。 ①基本的な統計量の算出方法を誤りなく記述できていること ②記述統計と推測統計の違いを理解して記述できていること。</p> <p>なお、いずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input checked="" type="checkbox"/> 秋季 <input type="checkbox"/> 春季 ）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	教育学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	教育学
出題の意図	<p>本試験問題は、すべて教育学についての知識を問うものとなっているが、問1以外の問題は、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p>
解答または解答例	<p>[問1] 教育学についての基礎的な知識を問うものである。正解は以下の通りである。 <input type="checkbox"/> パットナム <input type="checkbox"/> 問答法 <input type="checkbox"/> 省察的実践家 <input type="checkbox"/> 非認知能力 <input type="checkbox"/> 宗教 <input type="checkbox"/> モラトリアム <input type="checkbox"/> 義務教育 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 学童疎開 <input type="checkbox"/> 学校教育法</p> <p>[問2] A 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。日本教育史の分野における基本的 な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] B 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。教育制度学や教育方法学における基本的 な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] C 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。教育社会学における基本的 な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] D a 基本的な日本語の読解力について確認する問題である。解答および開東レは、著作物の著作権許諾処理の問題により公表できない。 Bについては、教育についての基本的 な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	教育学専攻
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	教育学
出題の意図 解答または解答例	<p><採点時の観点> 本試験問題は、すべて教育学についての知識を問うものとなっているが、問1以外の問題は、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。</p> <p>[問1] 教育学についての基礎的な知識を問うものである。正解は以下の通りである。①発見学習 ②中立 ③フレーベル ④半構造化インタビュー ⑤ウィリス ⑥ヘルバルト ⑦ボウルビィ ⑧合計特殊出生率 ⑨人的資本 ⑩変形労働時間</p> <p>[問2] A 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。日本教育史の分野における基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] B 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。教育制度学や教育方法学における基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] C 修士レベルに求められる学術的な論述力を問う問題である。教育哲学・教育思想史における基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p> <p>[問2] D a 基本的な日本語の読解力について確認する問題である。解答および解答例は著作物の著作権許諾処理の問題により公表できない。Bについては、教育についての基本的な問いに対して、適切かつ説得力のある論述を展開できるかが問われている。学問的な思考を、豊かな着想力を持って展開し、論理性と一貫性を備えた文章で表現できることが求められている。</p>

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	心理学専攻（心理学コース）
入試方式	■一般入試 □社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図	I P-1： 色覚がどのような生理学的・神経心理学的プロセスによって成り立つのか、視覚系の基礎理解を確認する問題。網膜での受容、視覚経路、脳内処理の階層構造などを関連づけて説明できるかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●網膜の錐体細胞（S/M/L）による三色型色覚の説明 ●外側膝状体（LGN）につながる視覚経路の理解 ●V1以降における色処理（色対比、opponent-process theory など）への言及 ●生理学的処理と知覚的現象との関連への言及 ●構造化され、誤りのない記述
解答または解答例	P-2： 心理学研究において動物実験が果たす役割を理解しているかを測る問題。行動原理の解明、神経基盤研究、倫理・限界への認識など、動物研究が学問にもたらす科学的意義を捉えているかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●動物実験の主要意義（学習・情動・記憶機構の解明など） ●神経科学・行動科学における因果的分析の重要性 ●臨床・人間研究との橋渡しとしてのモデル動物の機能 ●倫理的配慮（3R：Replacement/Reduction/Refinement）への言及 ●利点と限界に関するバランスのとれた言及
	P-3： 心理物理学における古典的測定法（恒常法）の基盤的理解を確認する問題。刺激呈示と判断の方法、主観的等価点（PSE）をどのように統計的に求めるかを具体的に理解しているかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●恒常法の仕組み（複数強度の刺激をランダム呈示し判断を集める） ●反応比率から心理測定関数を作成する流れの説明 ●主観的等価点（PSE）＝判断が50%となる点の理解 ●閾値推定との関連（JND）を適切に位置づけられる ●具体的かつ誤りのない測定手順の説明
	P-4： 障害を理解する概念的枠組みとして「医学モデル」「社会モデル」を比較し、具体例を用いて両者の視点の区別を問う問題。臨床心理学・教育心理学・福祉領域の基礎理解を測る。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●医学モデルと社会モデルとの区別の明確さ ●ICFモデルに基づく説明 ●ASD（自閉スペクトラム症）を用いた具体的説明 ●「同じ特性が環境により障害にも適応的にもなりうる」視点 ●モデルの違いが支援方法の差につながることを理解
	P-5： Beck, A.の開発した認知療法の基礎概念である「スキーマ」と「自動思考」を、両者の階層性・関係性を踏まえて説明できるかを問う問題。臨床心理学の基礎的理解を確認する。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●スキーマと自動思考の概念的区別に関する明確な記述 ●両者の関係（スキーマから自動思考に至る流れ。適宜媒介信念等に言及しているとなおよい）の理解 ●抑うつ症状（うつ病）・不安症状（不安症）など臨床例を用いた説明ができるとなおよい ●認知療法における両概念の臨床的意義の理解に言及しているとなおよい

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	心理学専攻（心理学コース）
入試方式	■一般入試 □社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	<p>心理学</p> <p>P-6：</p> <p>記憶システムの基礎（短期記憶／長期記憶）を正しく区別し、健忘症の症状を通じてそれぞれの機能・保持特性を説明できるかを確認する問題。認知心理学と臨床神経心理学の橋渡し理解を問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●短期記憶（容量制限・短持続）と長期記憶（膨大容量・長期保持）の明確な区別 ●前向き健忘を例に、長期記憶形成の障害を説明できる ●呼称・操作的保持など短期記憶が比較的保たれる例の提示 ●エピソード記憶／意味記憶／手続き記憶の違いを正しく扱う <p>II</p> <p>本問は心理学領域の基礎概念・専門語等の英語に関する用語理解を問うている。</p> <p>◆解答例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 嗜癖 物質・行動への制御困難な反復的関与を指し、渴望・耐性形成・離脱などを伴う。報酬系の変化や環境要因が関与する。 2. 両眼視野闘争 左右の眼に異なる像を与えると、両者が交互に知覚される現象。知覚の競合と注意・意識の関係を研究する重要概念。 3. 小脳 運動調節に関わる脳領域だが、近年は実行機能・認知・情動調整にも関与することが示されている。 4. 集合的無意識・普遍的無意識（邦訳はいずれも可） ユングの理論概念で、個人を超えた普遍的心的構造。フロイトの提唱した無意識は個人の経験により構成される「個人的無意識」であり、そのさらに下層に位置する、個人的体験を超えて人類に共通するイメージを算出するような無意識の層をさす。 5. 実行機能 目標志向的行動に必要な高次認知機能。抑制、更新、認知的柔軟性などで構成され、前頭前野が中心的役割を担う。 6. 性腺刺激ホルモン 視床下部・下垂体系により調節され、性腺機能（排卵・精子形成等）を促すホルモン。LH と FSH が含まれる。 7. 視床下部・下垂体・副腎軸 ストレス反応を司るホルモン系で、CRH → ACTH → コルチゾールの分泌を通じて生体のストレス適応を調整する。 8. 多重関係 臨床家が同じ対象者に複数の関係（治療者・友人・教員など）を同時にもつ状態。倫理的リスクが高いことと、逆転移が生じやすいことから、嚴重な配慮が必要。 9. 受容野 神経細胞が反応する感覚入力的空間領域。視覚では特定の位置・特徴に選択的に応答する。 10. 分離不安 愛着対象との分離やその予期により生じる不安や恐れを指す。乳幼児期に典型的だが、過度で持続する場合は分離不安症として臨床的意義をもつ。 11. 錯視 実際の刺激とは異なる知覚が生じる現象。視覚処理の法則性や脳内表象の特性を理解する手掛かりとなる。 12. 視覚的断崖 奥行知覚の発達を調べる古典的実験装置。乳児や動物が奥行を知覚し行動を変えるかどうかを観察する。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻（心理学コース）
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図	I P-1： 統計学の基盤となる中心極限定理について、博士前期課程に必要な統計的推論の理解ができているかを確認する問題。心理学研究における推定・検定の根拠を支える重要概念を、誤解なく説明できるかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●中心極限定理の正確な説明（独立同分布・母集団分布に依存しない漸近正規性） ●標本平均の分布に関する理解（平均・分散・サンプルサイズとの関係） ●実際の統計的推論（信頼区間・仮説検定）との接続を説明できる ●心理学研究における必要性・意義に触れている ●論述の体系的・論理性
解答または解答例	P-2： 心理学の進展を支える「理論研究」の位置づけを理解しているかを測る問題。現象の説明・予測・統合といった理論の役割を把握し、実証研究との関係性を認識しているかを確認する。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●理論の役割（説明・予測・統合）を具体的に述べている ●理論研究と実証研究の相補関係を説明できる ●構成概念・仮説生成・モデル構築などの意義への言及 ●応用・臨床・測定領域への関連を理解している ●体系的かつ首尾一貫した論述
	P-3： 空間知覚に必要な視覚の手がかりを、網羅的・正確に説明できるかを確認する問題。知覚心理学の基礎概念を整理し、両眼／単眼／運動情報を適切に分類して理解しているかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●両眼手がかり（両眼視差・輻湊）の明確な説明 ●単眼手がかり（遮蔽、相対的大きさ、線遠近法、テクスチャ勾配、陰影、大気遠近法など）を体系的に列挙 ●運動視差など運動に基づく手がかりへの言及 ●各手がかりが奥行・距離知覚にどのように寄与するかを説明 ●網羅性・構造的明快さ
	P-4： 大脳半球の機能差と脳梁の役割を結びつけて理解しているかを確認する問題。具体的症候を用いて、半球優位性の説明を実証的に示す能力を問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●左右半球の代表的機能差の正確な説明（言語／空間／情動など） ●脳梁の役割（半球間情報伝達）の理解 ●脳梁離断症候の典型例（左視野刺激の命名困難など）の記述 ●症状と半球優位性を関連づけた説明 ●神経心理学的視点に基づく論述
	P-5： 他者とのつながりや他者から得られる支援の「構造」と「機能」を区別して理解できているかを問う問題。臨床心理学・健康心理学で重要な基礎概念であり、両者の違いを明確化できるかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●ネットワーク（対人関係の構造）とサポート（提供される支援）の区別 ●サポートの種類（情緒的・道具的・情動的）への言及 ●両者の関係性と心理への影響（健康・ストレス緩和等）の説明 ●概念の混同がない ●理論・研究に基づく一貫した説明

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻（心理学コース）
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	<p>心理学</p> <p>P-6：</p> <p>精神疾患の支援には、個人内治療に加えて社会的・環境的アプローチが不可欠であることを理解しているかを確認する問題。地域支援、社会資源、リハビリテーションなどの概念理解を問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会的治療の定義（環境調整・社会資源活用・地域支援） ●生物-心理-社会モデルの理解 ●主要要素（家族支援、就労支援、ピアサポート、地域生活支援等）の説明 ●当事者の生活機能・社会参加の促進という視点への言及 ●現代の地域精神保健の枠組みに沿った記述 <p>II</p> <p>本問は心理学領域の基礎概念・専門語等の英語に関する用語理解を問うている。</p> <p>◆解答例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 失感情症 感情を認識・言語化する能力の低下を指す概念。身体症状への過度の集中や、情動処理の困難を特徴とし、精神科治療関係や対人関係に影響する。 2. 健忘 記憶の形成・保持・想起の障害を示す状態で、前向性・逆行性健忘に分類される。脳損傷、アルコール障害、解離など多様な原因がある。 3. 錐体細胞 網膜に存在する視細胞で、色覚と高解像度視を担う。S/M/Lの3種類があり、可視光の波長に応じて反応する。 4. 防衛機制 自我が不安や葛藤から自身を守るためにはほぼ無意識的に用いる心理的方略。抑圧・投影・合理化などが代表で、精神分析的理論で位置づけられる。 5. 事象関連電位 特定の刺激や課題に関連して脳で生じる電氣的反応を EEG で測定したもの。認知過程（注意・記憶・判断）の時間的プロセスを明らかにする。 6. 遺伝子改変動物 特定遺伝子を操作した動物個体で、行動遺伝学・神経科学に用いられる。病態モデルの確立や機能解析に不可欠である。 7. 精神神経免疫学 心理状態が神経系・免疫系に影響する相互作用を明らかにする学際領域。ストレスや情動が免疫機能を変化させる研究で知られる。 8. 辺縁系 情動・記憶・動機づけに関わる脳領域群。扁桃体、海馬、帯状回などが含まれる。 9. 正規化得点 異なる尺度を比較可能にするため、平均0・SD1など統計基準で変換された得点。標準化により相対的位置づけの比較が可能。 10. 強迫観念 繰り返し侵入的で苦痛をもたらす思考・イメージ。本人は不合理と認識することが多く、強迫症の中心症状。 11. 心理教育 心理的問題や疾患について本人・家族に正しい知識を伝え、対処・回復を支援する方法。治療遵守・ストレス軽減に寄与する。 12. 大きさ恒常性 網膜像の大きさが変化しても、対象の物理的大きさを一定と知覚する現象。距離手がかりとの統合により生じる。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	心理学専攻（臨床心理学コース）
入試方式	■一般入試 ■社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	臨床心理学
出題の意図	<p>I</p> <p>C-1:</p> <p>障害を理解する概念的枠組みとして「医学モデル」「社会モデル」を比較し、具体例を用いて両者の視点の区別を問う問題。臨床心理学・教育心理学・福祉領域の基礎理解を測る。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医学モデルと社会モデルとの区別の明確さ ●ICFモデルに基づく説明 ●ASD（自閉スペクトラム症）を用いた具体的説明 ●「同じ特性が環境により障害にも適応的にもなりうる」視点 ●モデルの違いが支援方法の差につながることを理解
解答または解答例	<p>C-2:</p> <p>Beck, A.の開発した認知療法の基礎概念である「スキーマ」と「自動思考」を、両者の階層性・関係性を踏まえて説明できるかを問う問題。臨床心理学の基礎的理解を確認する。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スキーマと自動思考の概念的区別に関する明確な記述 ●両者の関係（スキーマから自動思考に至る流れ。適宜媒介信念等に言及しているとなおよい）の理解 ●抑うつ症状（うつ病）・不安症状（不安症）など臨床例を用いた説明ができるとなおよい ●認知療法における両概念の臨床的意義の理解に言及しているとなおよい <p>C-3:</p> <p>記憶システムの基礎（短期記憶／長期記憶）を正しく区別し、健忘症の症状を通じてそれぞれの機能・保持特性を説明できるかを確認する問題。認知心理学と臨床神経心理学の橋渡し理解を問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●短期記憶（容量制限・短持続）と長期記憶（膨大容量・長期保持）の明確な区別 ●前向き健忘を例に、長期記憶形成の障害を説明できる ●呼称・操作的保持など短期記憶が比較的保たれる例の提示 ●エピソード記憶／意味記憶／手続き記憶の違いを正しく扱う <p>C-4:</p> <p>色覚がどのような生理学的・神経心理学的プロセスによって成り立つのか、視覚系の基礎理解を確認する問題。網膜での受容、視覚経路、脳内処理の階層構造などを関連づけて説明できるかを問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●網膜の錐体細胞（S/M/L）による三色型色覚の説明 ●外側膝状体（LGN）につながる視覚経路の理解 ●V1以降における色処理（色対比、opponent-process theory など）への言及 ●生理学的処理と知覚的現象との関連への言及 ●構造化され、誤りのない記述 <p>C-5:</p> <p>心理学研究において動物実験が果たす役割を理解しているかを測る問題。行動原理の解明、神経基盤研究、倫理・限界への認識など、動物研究が学問にもたらす科学的意義を捉えているかを問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動物実験の主要意義（学習・情動・記憶機構の解明など） ●神経科学・行動科学における因果的分析の重要性 ●臨床・人間研究との橋渡しとしてのモデル動物の機能 ●倫理的配慮（3R：Replacement/Reduction/Refinement）への言及 ●利点と限界に関するバランスのとれた言及

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ ■秋季 □春季）
研究科	文学研究科
課程	■博士前期課程 □博士後期課程
専攻	心理学専攻（臨床心理学コース）
入試方式	■一般入試 ■社会人特別入試 ■外国人留学生入試
試験科目	<p>臨床心理学</p> <p>C-6：</p> <p>心理物理学における古典的測定法（恒常法）の基盤的理解を確認する問題。刺激呈示と判断の方法、主観的等価点（PSE）をどのように統計的に求めるかを具体的に理解しているかを問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●恒常法の仕組み（複数強度の刺激をランダム呈示し判断を集める） ●反応比率から心理測定関数を作成する流れの説明 ●主観的等価点（PSE）＝判断が50%となる点の理解 ●閾値推定との関連（JND）を適切に位置づけられる ●具体的かつ誤りのない測定手順の説明 <p>II</p> <p>本問は心理学領域の基礎概念・専門語等の英語に関する用語理解を問うている。</p> <p>◆解答例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 嗜癖 物質・行動への制御困難な反復的関与を指し、渴望・耐性形成・離脱などを伴う。報酬系の変化や環境要因が関与する。 2. 両眼視野闘争 左右の眼に異なる像を与えると、両者が交互に知覚される現象。知覚の競合と注意・意識の関係を研究する重要概念。 3. 小脳 運動調節に関わる脳領域だが、近年は実行機能・認知・情動調整にも関与することが示されている。 4. 集合的無意識・普遍的無意識（邦訳はいずれも可） ユングの理論概念で、個人を超えた普遍的心的構造。フロイトの提唱した無意識は個人の経験により構成される「個人的無意識」であり、そのさらに下層に位置する、個人的体験を超えて人類に共通するイメージを算出するような無意識の層をさす。 5. 実行機能 目標志向的行動に必要な高次認知機能。抑制、更新、認知的柔軟性などで構成され、前頭前野が中心的役割を担う。 6. 性腺刺激ホルモン 視床下部・下垂体系により調節され、性腺機能（排卵・精子形成等）を促すホルモン。LHとFSHが含まれる。 7. 視床下部・下垂体・副腎軸 ストレス反応を司るホルモン系で、CRH → ACTH → コルチゾールの分泌を通じて生体のストレス適応を調整する。 8. 多重関係 臨床家が同じ対象者に複数の関係（治療者・友人・教員など）を同時に持つ状態。倫理的リスクが高いことと、逆転移が生じやすいことから、厳重な配慮が必要。 9. 受容野 神経細胞が反応する感覚入力の空間領域。視覚では特定の位置・特徴に選択的に応答する。 10. 分離不安 愛着対象との分離やその予期により生じる不安や恐れを指す。乳幼児期に典型的だが、過度で持続する場合は分離不安症として臨床的意義をもつ。 11. 錯視 実際の刺激とは異なる知覚が生じる現象。視覚処理の法則性や脳内表象の特性を理解する手掛かりとなる。 12. 視覚的断崖 奥行知覚の発達を調べる古典的実験装置。乳児や動物が奥行を知覚し行動を変えるかどうかを観察する。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻（臨床心理学コース）
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	臨床心理学
出題の意図	I C-1: 精神疾患の支援には、個人内治療に加えて社会的・環境的アプローチが不可欠であることを理解しているかを確認する問題。地域支援、社会資源、リハビリテーションなどの概念理解を問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●社会的治療の定義（環境調整・社会資源活用・地域支援） ●生物-心理-社会モデルの理解 ●主要要素（家族支援、就労支援、ピアサポート、地域生活支援等）の説明 ●当事者の生活機能・社会参加の促進という視点への言及 ●現代の地域精神保健の枠組みに沿った記述
解答または解答例	C-2: 他者とのつながりや他者から得られる支援の「構造」と「機能」を区別して理解できているかを問う問題。臨床心理学・健康心理学で重要な基礎概念であり、両者の違いを明確化できるかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●ネットワーク（対人関係の構造）とサポート（提供される支援）の区別 ●サポートの種類（情緒的・道具的・情動的）への言及 ●両者の関係性と心理への影響（健康・ストレス緩和等）の説明 ●概念の混同がない ●理論・研究に基づく一貫した説明 C-3: 大脳半球の機能差と脳梁の役割を結びつけて理解しているかを確認する問題。具体的症候を用いて、半球優位性の説明を実証的に示す能力を問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●左右半球の代表的機能差の正確な説明（言語／空間／情動など） ●脳梁の役割（半球間情報伝達）の理解 ●脳梁離断症候の典型例（左視野刺激の命名困難など）の記述 ●症状と半球優位性を関連づけた説明 ●神経心理学的視点に基づく論述 C-4: 空間知覚に必要な視覚的手がかりを、網羅的・正確に説明できるかを確認する問題。知覚心理学の基礎概念を整理し、両眼／単眼／運動情報を適切に分類して理解しているかを問う。 解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●両眼手がかり（両眼視差・輻湊）の明確な説明 ●単眼手がかり（遮蔽、相対的大きさ、線遠近法、テクスチャ勾配、陰影、大気遠近法など）を体系的に列挙 ●運動視差など運動に基づく手がかりへの言及 ●各手がかりが奥行・距離知覚にどのように寄与するかを説明 ●網羅性・構造的明快さ C-5: 心理学の進展を支える「理論研究」の位置づけを理解しているかを測る問題。現象の説明・予測・統合といった理論の役割を把握し、実証研究との関係性を認識しているかを確認する。 解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ●理論の役割（説明・予測・統合）を具体的に述べている ●理論研究と実証研究の相補関係を説明できる ●構成概念・仮説生成・モデル構築などの意義への言及 ●応用・臨床・測定領域への関連を理解している ●系のかつ首尾一貫した論述

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2025年度入試（ <input type="checkbox"/> 秋季 <input checked="" type="checkbox"/> 春季）
研究科	文学研究科
課程	<input checked="" type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程
専攻	心理学専攻（臨床心理学コース）
入試方式	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生入試
試験科目	<p>臨床心理学</p> <p>C-6:</p> <p>統計学の基盤となる中心極限定理について、博士前期課程に必要な統計的推論の理解ができているかを確認する問題。心理学研究における推定・検定の根拠を支える重要概念を、誤解なく説明できるかを問う。</p> <p>解答を誘導する恐れがあるため解答および解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中心極限定理の正確な説明（独立同分布・母集団分布に依存しない漸近正規性） ●標本平均の分布に関する理解（平均・分散・サンプルサイズとの関係） ●実際の統計的推論（信頼区間・仮説検定）との接続を説明できる ●心理学研究における必要性・意義に触れている ●論述の体系性・論理性 <p>II</p> <p>本問は心理学領域の基礎概念・専門語等の英語に関する用語理解を問うている。</p> <p>◆解答例</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 失感情症 感情を認識・言語化する能力の低下を指す概念。身体症状への過度の集中や、情動処理の困難を特徴とし、精神科治療関係や対人関係に影響する。 2. 健忘 記憶の形成・保持・想起の障害を示す状態で、前向性・逆行性健忘に分類される。脳損傷、アルコール障害、解離など多様な原因がある。 3. 錐体細胞 網膜に存在する視細胞で、色覚と高解像度視を担う。S/M/Lの3種類があり、可視光の波長に応じて反応する。 4. 防衛機制 自我が不安や葛藤から自身を守るためにほぼ無意識的に用いる心理的方略。抑圧・投影・合理化などが代表で、精神分析的理論で位置づけられる。 5. 事象関連電位 特定の刺激や課題に関連して脳で生じる電氣的反応を EEG で測定したもの。認知過程（注意・記憶・判断）の時間的プロセスを明らかにする。 6. 遺伝子改変動物 特定遺伝子を操作した動物個体で、行動遺伝学・神経科学に用いられる。病態モデルの確立や機能解析に不可欠である。 7. 精神神経免疫学 心理状態が神経系・免疫系に影響する相互作用を明らかにする学際領域。ストレスや情動が免疫機能を変化させる研究で知られる。 8. 辺縁系 情動・記憶・動機づけに関わる脳領域群。扁桃体、海馬、帯状回などが含まれる。 9. 正規化得点 異なる尺度を比較可能にするため、平均0・SD1など統計基準で変換された得点。標準化により相対的位置づけの比較が可能。 10. 強迫観念 繰り返し侵襲的で苦痛をもたらす思考・イメージ。本人は不合理と認識することが多く、強迫症の中心症状。 11. 心理教育 心理的問題や疾患について本人・家族に正しい知識を伝え、対処・回復を支援する方法。治療遵守・ストレス軽減に寄与する。 12. 大きさ恒常性